

函 南 産

令和5年（2023年）8月2日

報道機関各位

南茅部支所

産業建設課長 長谷山 裕 一

世界遺産アクセス改善実証運行事業（定期観光バス
はこだて縄文ライナー）の実施について

2021年に世界遺産となった南茅部地域にある縄文遺跡群は、世界遺産登録を契機に順調に入込客数を伸ばしておりますが、函館市内の主要な交通結節点からは約30キロ離れていることや、主要な公共交通が路線バスに限られており、二次交通の充実が求められているところです。

このことから、新たな観光メニューの創出と函館市内での滞在時間の延長などを目的とし、標記事業を実施することといたしました。

つきましては、報道方よろしくお願いたします。

記

- 1 運行日 8月：11日（金・祝）、12日（土）、19日（土）
26日（土）
9月：2日（土）、9日（土）、16日（土）、23日（土）
30日（土）
10月：1日（日）、7日（土）、8日（日） 【計12日】

- 2 運行ルート

函館市内～垣ノ島遺跡～大船遺跡～（昼食）～函館市内

※詳細については、別添チラシをご覧ください。

- 3 費用

1人 5,000円（入場料・昼食代込み） 原則として要予約

※こども料金の設定はありません

- 4 その他

運行初日である8月11日（金・祝）に限り、報道機関の方々を対象に試乗枠（昼食代等実費負担2,000円あり）を設けますので、8月7日（月）までに担当課まで事前予約をお願いいたします。

南茅部支所産業建設課

TEL 25-5119

定期観光バス
実証実験運行
—函館市—



はこだて縄文ライナー

Hakodate Jomon LINER

2021年にユネスコ世界文化遺産になった遺跡や国宝を半日で全て見られます。

◆世界遺産と国宝を解説付きで見学

◆海の幸や縄文に因んだ美味しい昼食

◆効率よく遺跡を巡り午前中で見学可

¥5,000-

縄文センター入場料
昼食代含む

要予約
空気があれば当日も可

運行日:2023年

8/11(金・祝)・8/12(土)・8/19(土)・8/26(土)

9/2(土)・9/9(土)・9/16(土)・9/23(土)・9/30(土)

10/1(日)・10/7(土)・10/8(日)

半日で巡る。
世界遺産と国宝を



世界遺産・垣ノ島遺跡



解説
付き

縄文時代の早期から後期までの約6,000年間の長期にわたり拠点集落が営まれました。国内最大級の盛り土遺構は、190mを超え、この壮大な遺構を見学できます。

世界遺産・大船遺跡



解説
付き

約1,500年にわたり継続して、密度の高い集落が営まれました。竪穴住居の規模が大きいのが特徴で、深いものでは2mを超え、その規模を実際に見学できます。

国宝・中空土偶—縄文センター



入場
料込

解説
付き

※レプリカ展示の場合もあります。

約3,200年前の縄文時代後期末につくられたもので、1975年に農作業中の地域住民によって偶然発見されました。2007年に北海道初の国宝に指定されました。

地元の飲食店で美味しい昼食



昼食
代込

縄文人が長期間暮らすことができたのは、豊富な食料があったから。現代にも続く地元の食材をふんだんに使った料理を、地元人も通う飲食店でお召し上がり下さい。

08:20	[乗車]函館駅前(4番のりば)
08:30	[乗車]五稜郭(本町交番前)
08:40	[乗車]湯川温泉電停前
09:30	◆縄文文化交流センター見学(特別解説)
10:00	◆垣ノ島遺跡見学(定時解説)
11:10	◆大船遺跡(特別解説)
11:50	◆昼食(ご希望の飲食店を選択)
12:40	◆直販加工センター買い物(漁業組合直営店)
13:20	[降車]トラピスチヌ修道院
13:30	[降車]湯川温泉電停前
13:40	[降車]五稜郭
13:55	[降車]函館駅前発



昼食は裏面の飲食店から選んで
乗車時にバスガイドへお知らせください

- 天候・道路状況等により運行時間やルートが変更となる場合がございます。
- 交通状況・各施設の混雑状況等によりバスが遅れて運行する場合がございますので、他の交通機関へのお乗り継ぎ時間など、時間にゆとりを持った設定を宜しくお願い申し上げます。
- お支払いいただきました運賃に関しましては運休となった場合以外は返金いたしかねますので予めご了承ください。
- 満席などご乗車頂けない場合がございますので、あらかじめご予約をお願い申し上げます。
- こども料金等の設定はありません。



地元民に愛されている
メニューを集めました

昼食メニュー

海の幸・縄文の味・職人の技

地元のお店の中で
食事していただきます
※一部を除く

乗車日のコースの店舗から1つを選んで、乗車時にバスガイドへお伝えください。
定員を超えた場合には、ご希望に添えない場合もあります。
各店舗のメニューは固定となっています、他は選べません。

Aコース

8/11 (金)
8/26 (土)
9/16 (土)
9/30 (土)

定員45名

定員 12名



手打そば 久蔵
北海道産そば粉と七飯町の湧水で仕込んだ二八そばは、風味豊かでどの越しが良く、南茅部産真昆布をふんだんに使ったつゆとも相性抜群。全国の蕎麦通がこの味を求めて訪れています。

冷やしためきそば

定員 12名



すし処 昆川
焼き目をつけた中華麺に、エビ、イカ、ホタテなど地場の海鮮のうまみと野菜たっぷりの餡がとろりと絡みます。東京で和食と中華の修行を積んだ店主が腕をふるう、同店の人気メニュー。

あんかけ焼きそば

定員 12名



寿し処 山昇
一口大にしたマグロ、甘エビ、イカ、トビッコなど、地元で獲れた旬の魚介8~9種を鮓めに盛り付けました。口の中で幾重にもおいしさ広がる、漁師町ならではの一品。

海鮮バラちらし

定員 9名



仕出し 一松
事前予約が必要で地元でも、なかなか食べられないお弁当。中空土偶の顔を模したおにぎりは、栗や昆布など縄文人が食べていた食材を利用。縄文の里のお弁当をぜひ。

土偶風幕内弁当

Bコース

8/12 (土)
9/2 (土)
10/1 (日)
10/8 (日)

定員45名

定員 30名



ホテル函館ひろめ荘
地元にも観光客にも愛される温泉ホテル。熟練の板前がからりと揚げた天ぷらは、海老が2本と贅沢な逸品。梅塩で召し上がり下さい。松前漬けと昆布風味の香の物を添えて。

天ぷら定食

全回立ち寄ります
お土産購入ならここ

**昆布製品
プレゼント**
参加者全員

南かやべ漁協直販加工センター

南かやべ漁業協同組合直販加工センターは、特産の昆布を主に南かやべ地場産品の販売PRを目的に漁協直営で運営しています。



定員 15名



仕出し 一松
事前予約が必要で地元でも、なかなか食べられないお弁当。中空土偶の顔を模したおにぎりは、栗や昆布など縄文人が食べていた食材を利用。縄文の里のお弁当をぜひ。

土偶風幕内弁当

Cコース

8/19 (土)
9/9 (土)
9/23 (土)
10/7 (土)

定員45名

定員 12名



食事処 公楽
前浜で水揚げされた魚を新鮮なうちにさばいて揚げるので、身が引き締まって美味。地場の魚のうまさやシンプルに味わえます。仕入れによってサクラマスが真ダラのフライ定食になります。

サクラマスまたは真ダラのフライ定食

定員 12名



ゆうずし 優 鮓
イクラ、トビッコ、マグロ、エビなど定番のネタのほか、その日の仕入れによって変わる地元の新鮮なネタを酢飯に盛り付けました。職人が毎日焼き上げる玉子焼きも必ず入ります。

海鮮丼

定員 12名



ホットステーション 珈夢
焙煎した南茅部産真昆布の粉末をオホーツク産小麦粉に練りこんだ「焙煎昆布めん」は、コシの強さやつるりとしたのど越しの良さ、ほのかに香る昆布の香りと小麦の風味が絶妙です。

焙煎昆布めん

定員 9名



仕出し 一松
事前予約が必要で地元でも、なかなか食べられないお弁当。中空土偶の顔を模したおにぎりは、栗や昆布など縄文人が食べていた食材を利用。縄文の里のお弁当をぜひ。

土偶風幕内弁当